



# 感染症週報



## 小笠原での流行状況

第44週（10月27日から11月2日まで）

**父島** 感染性胃腸炎の報告がありました。

**母島** 特別な感染症の報告はありませんでした。

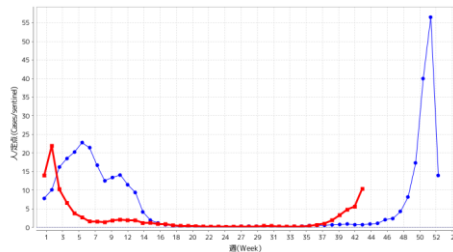
※ 5例以上発生時に実数報告としています

## 東京都全体での流行状況

第43週（10月20日～10月26日）

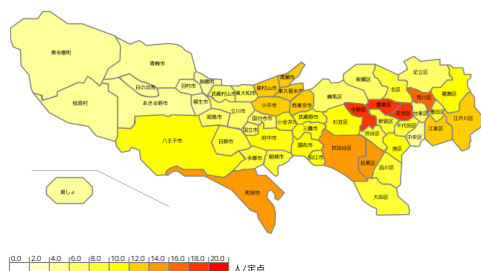
### 【警報・注意報】

・インフルエンザ **注意報レベル**  
（定点患者報告数 10.07）



(C)2002-2025 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

東京都内における定点当たり患者報告数の年別推移



都内の保健所別定点当たり患者報告数(第42週)

### 【ピックアップ】

・百日咳  
（累計患者数 6,553人）

## 感染症メモ

冬も暖かいといえ小笠原や沖縄。ともに温暖な地域ですが、冬の気候には違いがあり、インフルエンザの流行に影響を与えます。小笠原では冬でも湿度が高く、空気の乾燥による粘膜の防御力低下は起こりにくい傾向があります。一方、沖縄は曇天や雨の日が多く、屋内に人が集まりやすいため、密閉空間での感染リスクが高まります。インフルエンザウイルスは低温・低湿度で活性化しやすい性質を持っていますが、人の密集も感染拡大の大きな要因です。小笠原では気候的にウイルスの活性は抑えられるものの、観光シーズンやイベントによる人の移動や接触が感染の契機となります。人が密集する場所ではマスクを着用するようにしましょう。また、体調がすぐれない場合は、イベントや多くの人が集まる催しへの参加を控えましょう。一人ひとりの行動が村内での感染拡大防止に重要です。

## なぜ冬に感染症が流行るの？



寒くなると、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症が毎年のように流行します。なぜ冬に集中するのでしょうか？

### 空気が乾燥するから



ウイルスは湿気に弱く、乾燥した環境では長く生き残ります。インフルエンザウイルスなどは低温・低湿度で活性化しやすくなります。さらに、乾燥で喉や鼻の粘膜が弱くなり、ウイルスが侵入しやすくなります。

### 人が密集しやすいから



寒いと窓を閉めきって暖房を使うことが多いため、換気が減ります。人が集まる室内では、飛沫や接触による感染が広がります。乾燥していても、人が密集することでウイルスが人から人へ感染しやすくなります。

### 食中毒も油断禁物



冬はノロウイルスによる食中毒が増えます。加熱不足の牡蠣を食べることで感染したり、調理者の手指から付着したウイルスが原因になることもあります。小笠原の冬は湿度高めですが、ノロウイルスは十分活動できます。

### 予防のポイント

- ・加湿器や濡れタオルで室内の湿度を保ちましょう。
- ・手洗いをこまめにしましょう。
- ・意識して換気をしましょう。
- ・体調が悪いときは無理せず休みましょう。



習慣にしよう！

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所